足利赤十字病院　Japanese Red Cross Ashikaga Hospital

地域に根差す、足利赤十字病院の広報誌

風流鯨

ーかぜながすくじらー

ご自由にお持ち下さい
Take Free

2017.1 Vol.16

- 新年挨拶
- 入院患者さま満足度アンケート結果
- 第52回日本赤十字社医学会総会開催

TOPICS
- 活動報告&お知らせ
- 栄養課の窓
- 薬剤師の豆知識

新年ご挨拶

2017年 新年あけましておめでとうございます。

昨年は当院にとって色々な願いの叶った年となりました。まず、4月にオランダのハーグで行われた第24回IFHE国際病院設備学会において『IFHE International Building Award 2016』の最優秀賞を受賞し、世界一の療養環境を備える病院として表彰されました。これまで第1回カーボンニュートラル大賞（建築設備技術者協会）、第23回医療福祉建築賞（日本医療福祉建築協会）、平成26年度省エネ大賞（経済産業大臣賞）など、国内で数多くの病院建築に関する賞を受賞してきましたが、国内だけではなく世界的に評価を得られたことは大変光栄なことでありました。

10月には第52回日本赤十字社医学会総会を当院が主催で開催いたしました。本学会は、日本赤十字社に勤務する様々な職種の職員が全国から一堂に会し、医療及び赤十字事業に関する知識と技術の向上を図るため開催している赤十字の学会です。テーマを『医療の国際化～赤十字から発する患者安全～』と題し、演題数は759題にも上り、全国から約1,500人の参加者をお迎えして盛大に開催することができました。主催病院として大会を成功裏に収めることができたのも職員一丸となって取り組んだ成果であり、今後の糧になるものと確信しております。

また、12月には臨床検査部門を対象とした国際規格であるISO15189の取得に挑戦しました。ISO15189とは品質マネジメントシステムのISO9001と、技術的能力があり分析試験結果の品質を保証するISO17025の性質を併せ持つもので、審査を終えて、審査員の方々からはトップレベルの高評価を頂いており、今年認定されるものと確信しています。

足利赤十字病院
院長　小松本　悟

今年の願いとしては、一昨年に認証を取得したJCI（Joint Commission International）の更新に向けた『医療の質』の向上です。JCIは国際基準に照らして、患者様の安全のために様々な院内の事象に向き合い、課題に対してPDCAサイクルを回し、更なる『患者安全』『医療の質』の向上を目的としています。今年は認証から3年目を迎え、初回受審から2年間取り組んできたことを昇華して来年の再受審に備える年であります。国際基準の安全評価に応えるシステム構築に職員一同より一層取り組んで参ります。

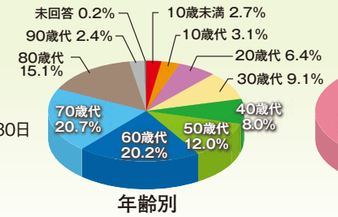
さて、今号の表紙は僭越ながら赤十字の全国スポーツ大会で当院の野球部が優勝したシーンとさせていただきました。平成20年に私が院長になってから初めての全国1位という事で、昨年願いの叶った出来事の1つでした。昨年は天皇賜杯でも全国8強に進出するなど野球部にとっても躍進の年となりました。今後ともこれが持続できるように、文武両道の精神でさらに飛躍していただきたいと願います。

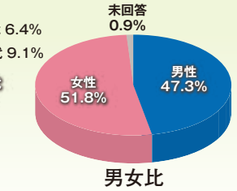
末筆ではございますが、平成29年が皆様の願いが叶う年となることを心からお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

入院患者さま満足度アンケート結果

実施日:平成28年9月1日～30日
総回答数:450名

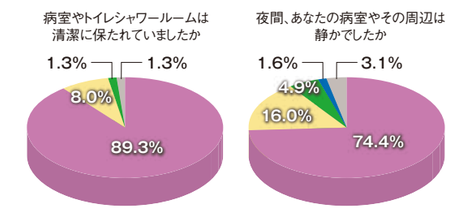




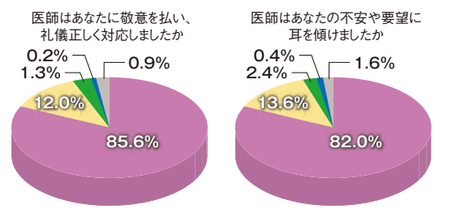
満足　やや満足　やや不満足　不満足　未回答

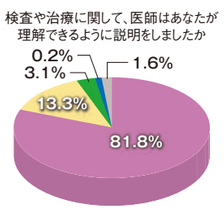
当院では、患者さまの満足度調査を実施しました。今回の調査を通じ、皆さまから頂いた評価を全職員で共有し、今後ともより良い病院づくりに取り組んでまいります。ご協力ありがとうございました。

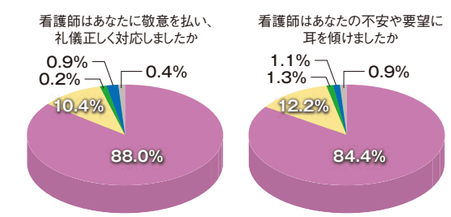
施設・設備・アメニティーについて

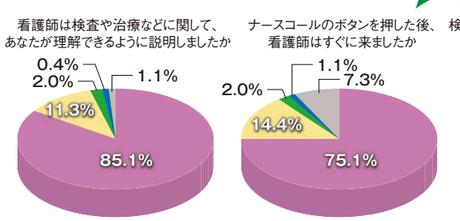


医師・看護師について

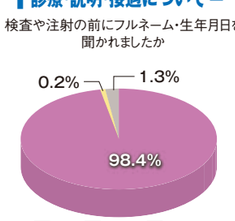




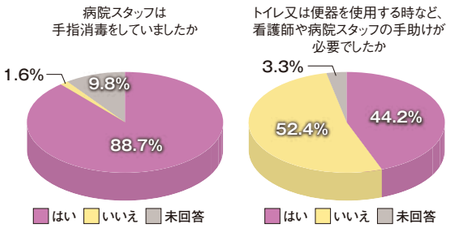


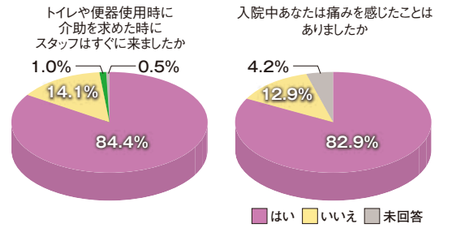


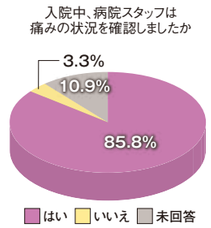
診療・説明・接遇について



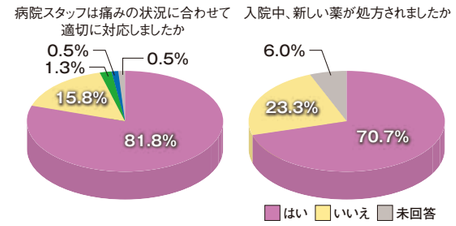
はい　いいえ　未回答

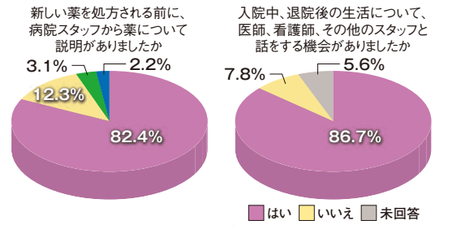


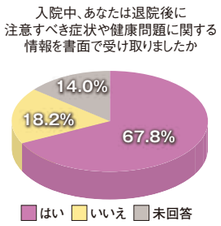




はい　いいえ　未回答

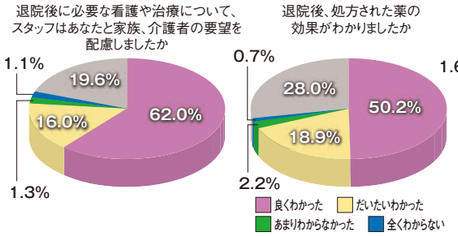




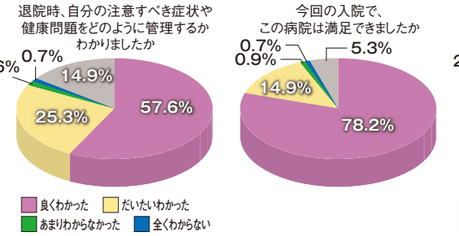


はい　いいえ　未回答

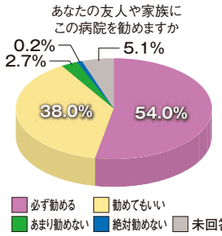
総合評価



良くわかった　だいたいわかった　あまりわからなかった　全くわからない



良くわかった　だいたいわかった　あまりわからなかった　全くわからない



必ず勧める　勧めてもいい　あまり勧めない　絶対勧めない　未回答

日本赤十字社
近衛 忠輝社長

日本赤十字社医学会総会
小松本 悟大会長

日光東照宮
稲葉 久雄宮司

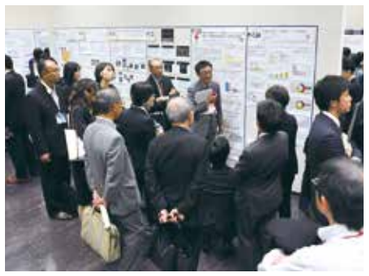
日本人で初の女性宇宙飛行士
向井 千秋先生

JCIバイスプレジデント
Paul Chan氏

iPS細胞シンポジウム 座長
福田 恵一教授

第52回日本赤十字社医学会総会を開催

医療の国際化 ～赤十字から発する患者安全～



平成28年10月20日（木）・21日（金）に宇都宮市で第52回日本赤十字社医学会総会を開催しました。

当学会は年に1度、日本赤十字社に勤務する様々な職種の職員が全国から一堂に会し、医療及び赤十字事業に関する知識と技術の向上を図るため、テーマ別にそれぞれの活動を発表する赤十字の学会です。

第52回は足利赤十字病院が当番病院として、当院がJCI受審で培った国際的な安全基準に目を向け、患者安全に対する赤十字組織全体の質の向上を推進したいと考え、テーマは『医療の国際化～赤十字から発する患者安全～』として開催しました。

初日は、特別企画としてJCIに対する理解を深めていただくことを目的に、JCIのバイスプレジデントであるPaul Chang氏を招聘し、交互通訳による基調講演が行われ、国際認証取得を目指す多くの職員が積極的に参加しました。

そして、特別講話として日本赤十字社 近衛忠輝社長が今回当学会に社長として初めてご参加いただき、世界最大の人道支援ネットワーク【国際赤十字・赤新月社連盟会長】として、「赤十字から見た人道の世界地図」と題したご講演をいただきました。

また、市民公開講座とした特別講演第Ⅰ部では、アジア初の女性宇宙飛行士で2度の宇宙飛行を行い、現在では宇宙医学の研究開発や地上への成果還元に取り組まれている向井千秋先生をお招きし、「宇宙医学から学ぶ健康寿命」についてご講演いただきました。第Ⅱ部では世界遺産である日光東照宮400年式年を成功裏に挙行された日光東照宮宮司 稲葉久雄様をお招きし、「東照宮の今日から明日へ」と題し、日光東照宮400年式年を振り返り未来に向けて地域と共に歩む東照宮についてご講演をいただきました。

2日目には、iPS細胞の権威である5名の先生方にご登壇いただき、慶應義塾大学循環器内科教授 福田恵一先生を座長としたシンポジウム『iPS細胞の臨床応用の実際』を開催しました。iPS細胞研究の最前線で活躍される先生方が一堂に会する大変貴重な機会となりました。

第52回の医学会総会では、活動発表・研究発表である演題数は759題にものぼり活発な演題発表や質疑応答が行われました。全国各地から集結した赤十字職員は約1,500名を数えるなど、盛況のうちに2日間の日程を終えました。

活動報告&お知らせ

活動報告 第16回全国赤十字病(産)院スポーツ大会が開催されました。

10月30日(土)31日(日)に長崎県で、第16回全国赤十字病(産)院スポーツ大会が開催されました。当院より野球部、駅伝部、バレー部、テニス部が参加しました。野球部は昨年初戦で敗れた大津赤十字病院(滋賀県)一昨年決勝戦で敗れた熊本赤十字病院(熊本県)に勝利。全3試合完封、合計27得点を奪取し圧巻の優勝を収めました。駅伝部は序盤から優位にレースを進め一時は先頭に躍り出る場面もあり、昨年の7位から1つ順位をあげて6位(全18チーム)、バレー部は2年連続となるベスト8進出を果たし、テニス部は惜しくも予選リーグ敗退でした。各部日頃の練習の成果を感じさせる大会となりました。

野球部

駅伝部

バレー部

テニス部

活動報告 織姫神社清掃ボランティアを実施しました

11月6日(日)に毎年恒例となる足利織姫神社の清掃ボランティアを行いました。11月初旬の気持ちの良い秋晴れの中、昨年を上回る総勢90名の職員が足利市への感謝の気持ちを込めて清掃作業に取り組みました。清掃後は地域の皆様の健康とご多幸を参加者全員でお祈りいたしました。

活動報告 第9回 足利赤十字病院主催 栃木県緩和ケア研修会を開催

12月10日(土)、11(日)の2日間において、第9回目となる足利赤十字病院主催の栃木県緩和ケア研修会を開催しました。主に栃木県の緩和ケア領域でご活躍されている指導医のもと、参加された院内外の34名医師・看護師等の方々は講義やグループワークに積極的に取り組まれました。2日間の研修会を修了された医師については厚生労働省健康局長認可、その他の職種については栃木県知事認可の修了証が発行されます。

当院では、今後も地域医療に携わる医療従事者を対象とした緩和ケア研修会を開催していきたいと思います。

活動報告 クリスマスコンサートを開催

平成28年12月16日(金)15:00より、足利市民会館レジデンスユニットの管弦ユニット4名の皆様によるクリスマスコンサートが開催されました。ヴァイオリン、フルート、チェロ、ピアノの構成から奏でる美しい音には、聴いている皆さまが感激されておりました。

外来に通院されている患者さま、入院されている患者さま、そしてご家族の皆さまには少しでもお力になれるようにと願いが込められたコンサートとなりました。

お知らせ 院内行事スケジュール

リボンズハウス

がん患者様の治療と生活を支援するため、情報やケア体験を提供する場所です。がんに関心をもたれている方、お気軽にお立ち寄りください。

日時 2月6日(月)・20日(月)・3月6日(月)
午前10時～午後2時

場所 イベントルーム

ナイスハートバザール(出張販売)

障害者就労支援事業所で一つひとつ丁寧に作っているパンや焼き菓子・オリジナル製品を販売しています。

時間 午前10時～午後1時(売切れ次第終了)

場所 正面玄関入口広場

日付	販売商品	事業所
1月26日(木)	焼菓子・エコポット・漬物	こなかの森
	焼菓子・梅干製品・野菜	やまゆり学園
2月9日(木)	コーヒー豆・シフォンケーキ・焼菓子	しあわせスイーツだんだん
	石鹸・麻製品・布製品・子供服	はろーじょぶ
2月23日(木)	木工品・手工芸品・布製品	こころみ学園
	焼菓子・梅干製品・野菜	やまゆり学園
3月9日(木)	木工品・手工芸品・布製品	こころみ学園
	焼菓子・梅干製品・野菜	やまゆり学園
3月23日(木)	焼菓子・エコポット・漬物	こなかの森

※事業所の都合により、販売内容が変更となる場合がございます。

今号の表紙 第16回全国赤十字病(産)院スポーツ大会の様子

健康レシピ紹介

栄養課の窓

乳酸菌、ビフィズス菌で免疫力UP!!

管理栄養士　宮下 恭子

寒さが厳しくなり、風邪をひきやすい季節になりました。腸は身体で最大の免疫器官のため、腸内環境を整えると免疫力がUPします!
そこで今回は腸で善玉菌として働く「乳酸菌、ビフィズス菌」の特集です!

◎免疫力を高めるためには善玉菌を優勢に!

腸内で悪玉菌と善玉菌のバランスを決めるものは食習慣、睡眠、ストレスなど。年齢も関係し、年を重ねると徐々に悪玉菌優勢に。
下痢や便秘が続く、オナラが以前よりも臭いと感じたら要注意です!
善玉菌優勢にするためには…

プロバイオティクスを多く含む食品(乳製品、発酵食品)　と　**プレバイオティクスを多く含む食品**(野菜、果物、はちみつなど)

を積極的に摂取しましょう!

プロバイオティクス
腸内の細菌バランスを改善し身体によい作用をもたらす生きた微生物
(**乳酸菌、ビフィズス菌**など)

プレバイオティクス
プロバイオティスクの栄養源となり増殖を促進する食品成分
(**オリゴ糖、食物繊維**)

※オリゴ糖 … 単糖が2個から10個程度結びついたもので、野菜、果物、大豆製品、乳製品、はちみつなどに含まれます。

温めて菌を活性化!
ホットヨーグルトジンジャー

■**栄養成分**(1人分)
エネルギー:140kcal
食物繊維:0.1g

材料[1人分]
- ヨーグルト……150g
- はちみつ……小さじ2杯
- 生姜スライス……3枚
- おろし生姜……2g

1. 生姜スライスをはちみつ(分量外)に2~3日漬ける。
2. ヨーグルト、おろし生姜、はちみつを混ぜて、電子レンジ(600W)で30~40秒加熱。
3. ①の生姜スライスをトッピングして出来上がり

注意!! 60℃以上になると乳酸菌、ビフィズス菌が死滅する可能性あるため、温めすぎにご注意を!!

善玉菌が優勢になると
1. 免疫細胞の活性化を促し、風邪や感染症を予防
2. ビタミンB群やビタミンKの合成促進
3. 乳酸や酢酸の生成により悪玉菌増殖を抑制、有害物質生成も防ぎ、下痢、便秘、ガンの予防に

薬剤師の豆知識

残薬

飲み忘れや症状回復による自己判断での服用中止などで、医師から処方された薬を大量に飲み残してしまう「残薬」が問題になっています。
処方通りに服用せずに症状が回復しなければ、医師はより強い薬を出したり、決められた日数分を飲まなければ薬の効果が出ないこともあります。また、医療費の無駄にもなります。
飲み忘れ予防には、服用カレンダーや市販のプラスチック容器での仕分けの使用を。また、自己判断で服用を中止してしまわないよう、医師や薬剤師が患者に納得して服用してもらえるよう薬の意味について伝えることが必要であると考えています。
残薬がある場合は、かかりつけの薬局にお持ちいただくことをおすすめします。

足利赤十字病院
Japanese Red Cross Ashikaga Hospital
〒326-0843 栃木県足利市五十部町284−1
TEL: 0284−21−0121　FAX: 0284−22−0225　ホームページ http://www.ashikaga.jrc.or.jp/
広報誌「風流鯨」Vol.16／平成29年1月20日発行　編集・発行／足利赤十字病院広報委員会